



さむかわ

議会だより

第 210 号

令和6年5月1日

発行



ツツジ(さむかわ中央公園)

1 月第2回会議

3 月会議

3 月第2回会議

CONTENTS

● 予算特別委員会特集	P 2
● 議案審査	P 7
● 一般質問	P11
● 議会TOPICS	P15



一般会計



予算特別委員会
柳田 遊 委員長
(フォーラム寒川)

予算審査 4つのポイント (審査意見書より抜粋)



◀ 審査意見書
全文



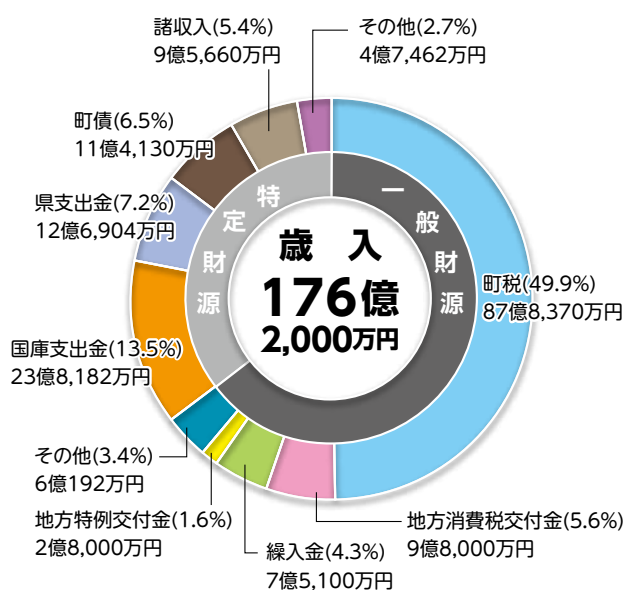
◀ 本会議の
映像

① 過去最大規模の予算額

一般会計予算の総額は176億2,000万円、対前年度比2億9,500万円、1.7%の増となり、一般会計予算総額が170億円台となった令和5年度予算と同じく令和6年度は過去最大規模の予算額でありました。

② 歳入：堅実な財政運営を評価

豊かな固定資産税のもと、増となった税収により一般財源を確保し寒川町の税収基盤の安定さが令和6年度予算でも見受けられ、特定財源におきましても適切な財源の確保をしていることにより普通交付税不交付団体として長い間、維持している寒川町の堅実な財政運営を予算歳入に関して評価することができます。



③ 歳出：新たなニーズに取り組む予算

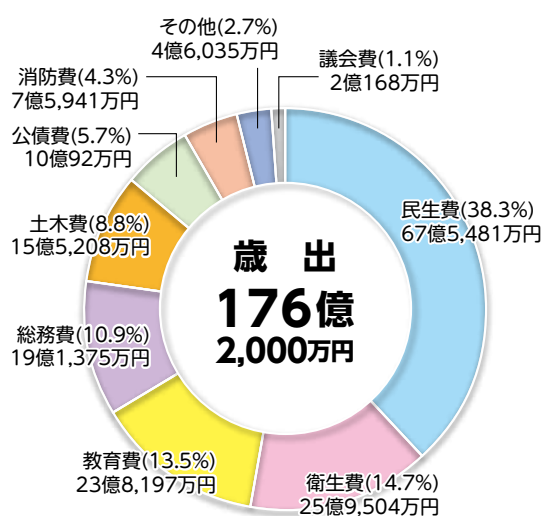
民生費や衛生費など、少子高齢化の進行による共働き世帯増に対応した子ども子育てのための予算や、老朽化が進んだ公共施設更新にかかる予算などの増加が見られる中で、その他にも、未来に向けたまちづくりや、町民の健康、地域の安全、新たなニーズを踏まえた取り組みを進めるための予算も計上されました。

④ 町民の福祉向上を期待

持続可能な行財政運営のため、町長の施政方針にある施策や、総合計画2040第一次実施計画の最終年度の取り組みを実施し、令和6年度予算が、最小の経費で最大の効果をあげ、町民の福祉の向上に寄与する予算になることを期待し、令和6年度予算・審査意見とします。



予算概要



※金額と構成比 (%) は、
表示単位未満を四捨五入しています。

5日間にわたる予算審査

特別委員会最終日には
4人の委員が総括質疑を実施

令和6年度一般会計および
特別会計歳入歳出予算を可決

各会計予算額

区分	令和6年度予算額	令和5年度予算額	前年度伸率
一般会計	176億2,000万円	173億2,500万円	1.7%
特別会計	122億2,581万円	120億6,212万円	1.4%
国民健康保険事業	48億1,199万円	48億2,257万円	△0.2%
後期高齢者医療事業	13億4,604万円	12億1,450万円	10.8%
介護保険事業	39億256万円	37億7,344万円	3.4%
下水道事業(公営企業会計)	21億6,523万円	22億5,160万円	△3.8%
合計	298億4,581万円	293億8,712万円	1.6%

職員の資格取得に 対して助成の考えは

Q 近年、専門職職員の人材確保が難しくなっていること、また特に若手職員からは自身のスキルアップを希望する声が多くなっていることを踏まえ、職員の資格取得に対し、助成をする制度を検討すべきではないか。

A 複雑・多様化する町民ニーズへの的確に対応できる職員の確保と育成は喫緊の課題であり、職員には一定程度の専門的知識が必要となっています。

資格取得に対する助成は、効果的な取り組みであると認識しているため、課題の整理と優先順位の見極めを行い、先行事例を参考にしながら、適切に判断していきます。

AEDの屋外設置を

Q 屋外のスポーツ施設等ではAEDが設置されていない施設があり、また学校等においては屋内設置であることから、施設開放の状況によっては使用できない場合があるとのことだが、利用者の命を守るため、AEDを屋外に設置することを検討すべきではないか。

A 屋外にAEDが設置されていない各施設について、屋外設置に当たっての規制や条件、設置場所等の諸課題を整理し、早期設置に向け検討していきます。

黒沢 善行 委員
(公明党)

柔軟な学校施設開放を

Q 抽選による施設予約への移行により、予約申請の簡素化や公平性が保たれている一方、利用者からはさまざまな声がある。青少年スポーツ推進の観点で、公平性を保ちつつ、柔軟な対応を取ることはできないか。

A 利用者からの声は把握しており、正しい使用方法を町HP等で周知している他、個別での説明やメールでの注意喚起、見守りを行っています。

今後も関係各課で協力し、公平さと使いやすさが両立した、さらなるスポーツ活動の推進ができるよう、取り組みを進めます。

より良い給食提供のため より良い組織づくりを

Q 寒川学校給食センターの運営においては、その都度課題を把握し対策に努めているとのことである。より良い組織をつくること、より良い給食提供には欠かせないと考えるが、見解は。

A 安全・安心でおいしい給食を安定して提供することが最も重要であり、その目標のため給食センターで働く職員が一丸となって進んでいく必要があります。今後も細かな課題が生じることもありますが、都度課題を精査・検討することで解消に努め、より良い組織体制を構築するよう努めます。

岸本 優 委員
(さむかわ自民党)

児童クラブにおける

待機児童解消のための取り組みは

Q 待機児童について、保護者からは切実な声を聞いている。「湘南地域で最も子育てしやすいまち」を目指し、どのような取り組みを考えているのか。

A 各家庭の状況や保護者の方々の就労状況等の変化により、児童クラブの入所希望者は年々増えています。今後も学校内の余裕スペース等を有効活用して待機児童の解消につなげ、子どもたちが安全・安心に過ごすことができるよう取り組みます。

未確定要素の多い

東海道新幹線新駅整備基金の是非は

Q これまで大きな進展がなく、JRの方針によっては事業自体が頓挫する可能性もある状況での積み立てには疑問があるが、見解は。

A JR東海からは「助言を求められれば協力する」との見解が示されており、技術相談等を継続的に実施していることで、新駅設置の可能性は大いに高まっていると捉えています。新駅設置に向け、その資金を確実に捉えて蓄えられるよう、基金条例を制定し、積み立てを行っています。



青木 博 委員
(日本共産党)

デジタル地域通貨制度の

確実な成功を

Q 大きな予算を投じて行う事業であり、確実な成功が求められる。他自治体に比べ後発である優位性、町全体として不平等のない仕組みづくりなどについて、町の見解は。

A 後発であることで、先行事例の情報収集や、技術開発の進展に伴い多様な事業者から提案を受け、選定することが可能になると考えています。

デジタル地域通貨制度は、地域の活性化を目的とし、地域内での経済循環および地域課題の解決の視点で実施するもので、特定の方だけではなく、多くの方々に利用してもらえる仕組みにするとともに、しっかりと説明会を行っていきたいと考えています。



新村 賢志 副委員長
(大志会)

寒川ブランドによる

農業振興の考えは

Q 寒川産の農作物販売の際、「高座のころ」オリジナルのシールや袋を使用することで、地産地消や農業の振興を促す仕組みを作ってはどうか。

A 生産者からもシールに対する提案を頂いており、町ブランドを広めていく上で、大変有効であると考えています。今後、生産者やさがみ農業協同組合と協力しながら検討を進めます。

令和6年度決算を



二次元コードから本会議の
映像をご覧いただけます。



賛成

さむかわ自民党

明るい未来を描くための
予算と評価

歳入では、町税が社会経済情勢に照らし合わせ適切な規模で見積もられているか、国県補助金等は積極的な財源確保が行われているか、歳出では、町総合計画を達成するための予算が組まれているかなど、さまざまな角度から審査しました。

まず、将来を見据えた取り組みとして、ツインシティ倉見地区整備事業推進の他、防災対策の充実、産業支援、教育の充実など新たなニーズを踏まえ、さまざまな取り組みが推進されています。

また、持続可能な行財政運営の取り組みとして、民間活力を活かした公共施設再編事業や利用料、受益者負担の適正化など、事業の見直しや財源確保といった視点での取り組みが確認できました。

審査の中で挙げられたそれぞれの意見等に留意するとともに、町民から寄せられたさまざまな声に寄り添った行政運営に邁進し、明るい未来を切り開けるものとして、一般会計予算および他の4特別会計予算に賛成します。

反対

日本共産党

町民の立場に立った
税金の使い方、生活支援を

一般会計の予算規模は、前年度最高だった予算を上回りましたが、中小企業の経営環境は、コロナ後も物価高騰や人手不足などの影響で悪化しています。先行きが見通せない状況で、企業経営や町民の暮らしが困難になるのではと懸念されます。

歳出では、伴走型の子育て支援に努めている町として、待機児童解消は、喫緊の課題です。ストリートスポーツでは、予算に対し効果を具体的な数値を示す調査をするべきです。

健康管理システム標準化については、万全なセキュリティの確保が必要です。東海道新幹線新駅整備基金積立は未確定要素が多いため、積立根拠の是非が問われます。総合図書館の貸し出し冊数増のためには、さらなる施策が必要です。水泳授業については、費用対効果ではなく、子ども第一と寄り添うことが必要と考え、一般会計予算を反対とします。

なお、他の4特別会計予算についても保険料の改善などさらなる負担軽減と国や県へ財政負担の増額を求めるべきとして反対とします。

賛成

大志会

健康・環境・安全安心を
適切に捉えた予算を評価

健康と子育ての町、安全・安心の町、商業・農業の発展に向けての施策など、町民の生活に寄り添った予算かという視点で審査しました。

健康と子育ての町の実現に向けては、带状疱疹ワクチン予防接種助成の開始、倉見幼稚園の認定こども園化に係る補助の他、児童クラブ新設など、保育環境の充実が図られます。また、健康管理センターの代替施設の建設、ことばの教室の町内全小学校への展開など多くの新たな取り組みが確認できました。

安全・安心のまちづくりに向けては、避難所のマンホールトイレやテントなどの防災資機材購入、緊急通信指令システムの整備、さむかわ安全・安心フェアの開催など防災対策の充実が図られています。

商業では、町商工会と連携した、デジタル地域通貨の導入に向けての予算編成など商業を盛り上げていくための施策が確認できました。

その他の事業についても、全体を通して適切な規模で予算編成されているとし、一般会計予算および他の4特別会計予算に賛成します。

▼予算特別委員会 委員別賛否結果

委員名	会計区分				
	一般会計	特別会計			
		国保	後期高齢	介護保険	下水道
委員長 柳田 遊 (フォーラム寒川)	—	—	—	—	—
副委員長 新村 賢志 (大志会)	○	○	○	○	○
委員 青木 博 (日本共産党)	●	●	●	●	●
委員 岸本 優 (さむかわ自民党)	○	○	○	○	○
委員 黒沢 善行 (公明党)	○	○	○	○	○

○:賛成 ●:反対 (柳田委員長は、表決に加わりません。)

● 1月第2回・3月・3月第2回会議 ●

寒川町のこんなことが決まりました。

1月第2回会議	会議期間	1月31日
3月会議	会議期間	2月20日から3月21日
3月第2回会議	会議期間	3月21日

1月第2回・3月・3月第2回会議の議案は

町長提出議案・・・・・・・・30件

議員提出議案・・・・・・・・2件

今号ではこの中から
5つを

Pick up

※議案の会議録については、6月上旬にホームページに公開します。

Pick up

<議案第14号>

1

本籍地以外での戸籍証明書の発行(広域交付)等が
できるようになります

国民の利便性向上と行政事務の効率化を図るため令和元年5月31日に公布された、戸籍法の一部を改正する法律が令和6年3月1日に施行されることに伴い、寒川町手数料条例の一部を改正するものです。

こんな質問がありました

Q 本人のもの以外で、広域交付により戸籍証明書を請求できる範囲は。

A 配偶者、直系尊属(父母、祖父母等)、直系卑属(子、孫等)の戸籍証明書が取得できます。なお、代理請求や郵送での申請はできません。

Q 広域交付に、マイナンバーカードは必要か。

A マイナンバーカードは不要です。

令和6年
3月1日から

市区町村の窓口で

**戸籍の証明書
の請求が便利
になります**

1 どこでも
本籍地が遠くにある方でも、最寄りの市区町村の窓口で請求できます！

2 まとめて
ほしい戸籍の本籍地が全国各地にあっても、1か所の市区町村の窓口でまとめて請求できます！

結婚・相続などの行政手続や各種申請手続での負担が軽減
令和6年4月1日から相続登記の申請が義務化されます。
戸籍の新サービスを相続手続にも併用ください。

法務省民事局

法務省ウェブサイトより
(<https://www.moj.go.jp/content/001409033.pdf>)

Pick up

<議案第15号>

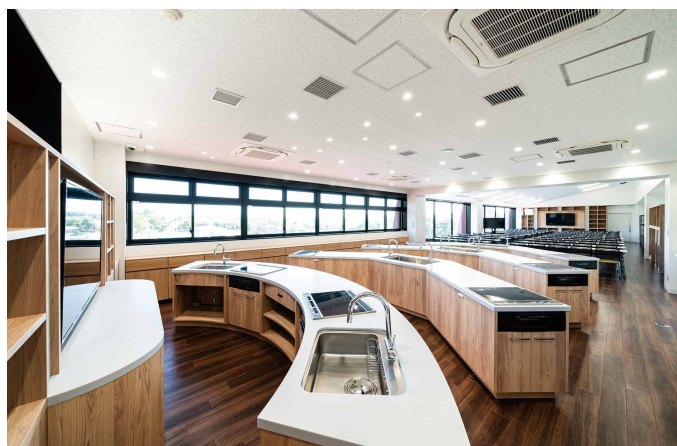
2 寒川学校給食センター内の 食育ホールが使えるようになります

寒川学校給食センター内の食育ホールを町民が利用できるようにすることにより、町民の食育の推進を図るため、寒川学校給食センター条例を制定するものです。

こんな質問がありました

Q 今後、給食センターだけではなく、町全体で食育を推進していく必要があると考えるが、見解は。

A まずは給食の安全・安心を確保した上で、一つ一つの課題を着実に解消しながら、食育ホールの幅広い利用を含め、食育の推進について検討を進めます。



食育ホール(ココロキッチン・食サロン)

Pick up

<議案第18号>

3 65歳以上の方の介護保険料が変わります

令和6年度から3年間の介護保険制度の指針となる第9期介護保険事業計画が策定され、この計画に基づき介護保険料を改正するため、寒川町介護保険条例の一部を改正するものです。

こんな質問がありました

Q 全体を見ると保険料の負担が増加することになるが、引き上げないための対策は考えられなかったのか。

A 介護給付費等準備基金積立金から、4億3,000万円を取り崩しました。介護費用が増え続ける中、持続可能な介護の仕組みを構築するため、年間所得に応じた負担をしていただくものです。



4

消防団に機能別団員制度等が導入されます

機能別団員制度ならびに消防団員の休団制度および定年制度を導入することなどにより、消防団の充実強化を図ることを目的に、寒川町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正するものです。

こんな質問がありました

❏ 機能別団員の定員と募集の方法は。また指揮命令系統はどのようになるのか。

❏ 消防団員全体の定数178人に対し、現在の消防団員数は164人であり、不足する14人を機能別団員により補うことを目標としています。今後チラシなどの作成を予定しており、基本団員と合わせて募集を行います。

機能別団員は団長および副団長の直轄部隊として、火災を除く風水害や地震などの大規模災害時に、基本団員の後方支援を行います。



寒川町消防団 広報部長 消防 ダン十郎

5

副町長に^{ふかざわふみたけ}深澤文武氏を選任しました

3月21日、町長から副町長に深澤文武氏を選任したいとして提案され、賛成多数で同意しました。任期は、4年間(令和6年4月1日から令和10年3月31日まで)です。

経歴

- 昭和58年4月 寒川町入庁
- 平成25年4月 企画政策部企画政策課長
- 平成28年4月 企画政策部長
- 平成29年4月 企画部長、現在に至る



本会議・委員会の記録を次の二次元コードからご覧いただけます。

本会議の記録



各委員会の記録



議案・陳情等の資料



可決された意見書・決議



令和6年第1回定例会 1月第2回・3月・3月第2回会議 審議結果

議案番号		議案	会派名	さむかわ自民党				大志会				フォーラム 寒川		日本 共産党		公明党				
			議決 結果	横手 旭	岸本 優	吉田 悟朗	天利 薫	新村 賢志	山上 秀樹	佐藤 一夫	茂内 久代	柳田 遊	柳下 雅子	青木 博	山田 政博	太田 真奈美	黒沢 善行	関口 光男	小泉 秀輔	橋本 修一
1月 第2回	1	令和5年度寒川町一般会計補正予算(第7号)	原案可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	2	武道場及びサブアリーナ空調機設置工事(機械 設備工事)請負契約に係る変更契約の締結	原案可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	3	武道場及びサブアリーナ空調機設置工事(建築) 請負契約に係る変更契約の締結	原案可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3月	4	令和5年度寒川町一般会計補正予算(第8号)	原案可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	5	令和5年度寒川町国民健康保険事業特別会計補 正予算(第3号)	原案可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	6	令和5年度寒川町介護保険事業特別会計補正予 算(第3号)	原案可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	7	令和5年度寒川町下水道事業特別会計補正予算 (第4号)	原案可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	8	令和6年度寒川町一般会計予算	原案可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○
	9	令和6年度寒川町国民健康保険事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○
	10	令和6年度寒川町後期高齢者医療事業特別会計 予算	原案可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○
	11	令和6年度寒川町介護保険事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○
	12	令和6年度寒川町下水道事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○
	13	寒川町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に 関する条例及び寒川町職員の育児休業等に関す る条例の一部改正	原案可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	14	寒川町手数料条例の一部改正	原案可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○
	15	寒川学校給食センター条例の制定	原案可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	16	寒川町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事 業の運営に関する基準を定める条例の一部改正	原案可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	17	寒川町国民健康保険条例の一部改正	原案可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	18	寒川町介護保険条例の一部改正	原案可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○
	19	寒川町指定地域密着型サービスに係る基準を定 める条例の制定	原案可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	20	寒川町指定地域密着型介護予防サービスに係る 基準を定める条例の制定	原案可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	21	寒川町指定介護予防支援事業者の指定に関し必 要な事項並びに指定介護予防支援等の事業の人 員及び運営等の基準等を定める条例の制定	原案可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	22	寒川町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運 営に関する基準等を定める条例の制定	原案可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	23	茅ヶ崎市計画事業寒川駅北口地区土地区画整 理事業施行条例の廃止	原案可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	24	寒川町空家等対策協議会条例の一部改正	原案可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	25	寒川町下水道事業の設置等に関する条例の一部 改正	原案可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	26	寒川町消防団員の定員、任免、給与、服務等 に関する条例の一部改正	原案可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	27	寒川町消防団員等公務災害補償条例の一部改正	原案可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	28	副町長の選任	同意	賛成 12票 反対 4票																
	議員提出 第1号	寒川町議会政務活動費の交付に関する条例の一 部改正	原案可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議員提出 第2号	寒川町議会議員の請負の状況の公表に関する条 例の制定	原案可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3月 第2回	29	寒川町行政手続における特定の個人を識別する ための番号の利用等に関する法律に基づく個人 番号の利用等に関する条例の一部改正	原案可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○
	30	寒川町町税条例等の一部改正	原案可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○:賛成 ●:反対 (天利議長は、表決に加わりません。小泉議員、橋本議員は会派に属さない議員です。)

町民の生命を守るため 町の防災力向上を

Q 想定される避難者数を考え、簡易トイレや生理用品は備蓄量を増やすべきでは。

A 現在、町で備蓄している数では不足することもある想定されますが、企業と仮設トイレや生理用品の供給の協定を締結しており、準備を整えています。なお、簡易トイレや便袋の備蓄を含め、生活用品においても、自助の観点から家庭での備蓄をお願いしています。

Q 下水道の耐震整備の状況は。

A 現在町が所有する下水道施設の延長は197キロメートルであり、そのうち耐震性を有する管延長は約55キロメートル、耐震化率は約28%です。

Q 被災者の確認事務の体制は。

A 広域避難所においては、被災者名簿で確認を行います。広域避難所以外にいる被災者については、共助の観点から、自主防災組織や自治会等からの情報で所在の確認に努めます。



小泉 秀輔 議員



Q 2000年以前の新耐震基準の建物に対し、耐震化向上を呼びかけるべきでは。

A 町としても、建築物の耐震化を一層推進すべきと考えていますが、現時点においては、まずは旧耐震基準の建築物の耐震化を図ることにより、建築物の地震に対する安全性の向上を計画的に促進していくことが必要だと考えます。新・新耐震基準に満たない建築物の耐震化の向上については、国等の動向を踏まえ、必要に応じ調査研究に取り組んでいきます。



地震災害対策の要である 地域防災計画について問う

Q ライフラインの復旧の見通しは。

A 神奈川県地震被害想定調査の県域におけるライフラインの復旧見通しでは、上水道は49日、下水道は132日、電力は50日、通信施設は50日、LPガスは2日となっています。

Q 職員の人員確保が困難な場合の体制づくりと対応について問う。

A 業務時間内外にかかわらず職員が不足している班については、他の班からの動員可能な職員を配置することや県や他自治体等からの応援者を配置することも想定しています。

Q 避難所における女性や子供に対しての犯罪防止は重要な対策と町は認識しているとのことだが、災害時の犯罪に関する対策は。

A 避難者への注意喚起や必要に応じて防犯関係団体等と連携し、警察官の配置や巡回を要請することを想定しています。また、避難所運営委員会への女性の積極的な参画を推奨している他、



青木 博 議員



被災者相談窓口を設置することにより、相談・要望等への体制を構築していきます。

Q 避難生活における、生活支援としての健康管理に関する対策は。

A 保健師等が避難所等を巡回し、避難者の健康状態の把握、衛生状況の改善、感染症の予防等を行うことを想定しています。また、避難所生活の長期化、被災による精神へのダメージ等によるPTSD等に対応するため、かながわDPAT（災害派遣精神医療チーム）、医療、保健および福祉関係者等の協力を得て、状況に応じてカウンセリング等の必要な措置を講じることを想定しています。



次世代にツケを残さない 持続可能な行財政運営を問う

Q 財政硬直化の要因となる課題解決のため、中・長期的な視野に立ち、健全で持続可能な財政運営の基盤を構築するための財政指標である財政推計を見いだすことや、財源の確保、公共サービスの改善により財政健全化に向けた取り組みが求められる。

住民福祉の増進に努め、最少の経費で最大の効果を挙げ、自治体の財政硬直化を解決するために、町はどのように行政財政運営に取り組むのか。

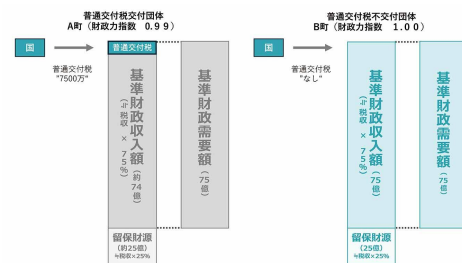
A 町は、先人による企業誘致や都市基盤整備の取り組みなどにより、税等の自主財源の確保が図られ、基準財政収入額が基準財政需要額を上回るため普通交付税不交付団体となっています。財政の健全化については、地方公共団体の財政の健全化に関する法律により、健全化判断比率の4つの指標および資金不足比率について監査委員の意見を付して毎年議会にご報告しておりますが、町は健全財政を維持しています。経常収



柳田 遊 議員



支比率は平成23年度から上昇傾向でしたが、平成26年度をピークに令和4年度まで減少傾向にあります。税等の上振れはあるものの高齢化率も緩やかながら年々増加し、今後も社会保障関係経費など義務的経費はさらに増加していくものと想定され、行政サービスの質を維持しつつ将来の世代が安心して住み続けられる施策展開が求められます。今後もさまざまな財政指標等に留意し、適宜長期財政推計を見直し、財政計画に裏付けされた町総合計画の実効性を担保することで、次の世代にツケを残さない健全財政の維持に努めます。



一般質問で使用了議員作成資料より

安全・安心な給食センター 運営を目指せ

Q 給食センター運営でのHACCPの考え方は、調理現場における手順管理を徹底することにより、安全性を担保し、かつ、調理効率等の向上へつなげていくものと考えているが、給食センターではどのような取り組みをしているか。

A 学校給食の衛生基準に従い、各手順についての時間や安全等の記録を取っています。併せてハード側の管理として、食材の搬入からコンテナの搬出までの流れを確認できるようカメラを設置し、記録を行っています。作業過程において異物混入等の事案が生じた場合は、作業を行っていた職員の確認だけでなく、映像での確認も行い、何が問題であり、再発防止に向けどのような仕組みが必要か検討しています。

Q 学校給食満足度の把握という点で、児童・生徒から生の声を聴くことは重要だと考える。月1回の栄養士と児童・生徒との意見交換の場を設

※HACCP(ハサップ)とは、食品等事業者自らによる、食品の安全を確保するための衛生管理手法のこと



佐藤 一夫 議員



けるなど考えてみてはどうか。

A 児童・生徒からの生の声を聞いて、提供する給食に活かしていくという取り組みは、より良い献立作りの推進につながるとともに、食に対して児童・生徒が能動的に考えるきっかけづくりにもつながり、大きなメリットがあると考えます。今後もより良い給食提供が行えるよう、教育委員会、学校、給食センターが連携し、取り組めるよう努めます。



寒川学校給食センター(給食棟)

高齢者に優しい施策をせよ

Q 健康寿命を延ばすことや介護予防につながるフレイル予防について問う。

A フレイル予防には、栄養、運動、社会参加の3つの柱をバランスよく日々実践することが重要で、今後も保健師や管理栄養士など専門職を中心に、フレイル予防のための施策を進めてまいります。

Q 寒川総合体育館での健康づくりの取り組みについて問う。

A トレーニングルームの機器を活用した、高齢者健康トレーニング教室を実施しています。

Q 高齢者が家庭や地域で孤立しないようにするために、どのような事を行っていくのか。

A 支援を必要とする高齢者に対し、適切な支援へのつながり、継続的な見守りを行うとともに、地域におけるさまざまな関係者のネットワーク構築を図る必要があると考えます。

※フレイルとは、加齢により心と体の働きが弱くなった状態のこと



山田 政博 議員



Q 高齢者の社会参加につながる機会創出について問う。

A 高齢者の社会参加は、生きがい創出や健康増進に資するほか、地域の活力を高めていくと認識しています。今後も高齢者の社会参加につながる施策の充実に努めます。

Q 高齢者の社会参加の機会創出として、コミュニティバスの活用について問う。

A コミュニティバスは、高齢者の社会参加につながる移動手段の一つと認識しています。今後は、現在策定を進めている寒川町地域公共交通計画に基づき、公共交通の利便性向上と活用に取り組みます。



地域共生社会実現に向け、重層的支援体制の整備を急げ

Q これまでの福祉制度だけでは、人びとが持つ課題や生きづらさが解決しにくいことを背景に、令和2年6月に社会福祉法が改正され「重層的支援体制整備事業」が創設された。本制度に対する町の見解は。

A 昨今、8050問題やヤングケアラー、ひきこもりなど属性や世代を問わない生きづらさを抱えた町民やその世帯に対しての従来にない課題解決が求められています。重層的支援体制整備については、町としても取り組むべき事項と認識しており、先進自治体などを参考に、人口規模や地域の特性等に合った支援の在り方について調査研究をしていきます。

Q 相談支援や参加支援とともに不可欠である地域づくり支援に対する現在の取り組みは。

A 行政等の支援だけでは解決できない日常生活課題等に関しては、地域住民が気にかけることで地域のセーフティネットが充実し、早



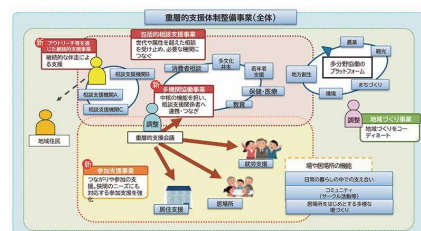
黒沢 善行 議員



期発見・支援につながることから、町が社会福祉協議会に委託をして実施している生活支援コーディネーターにより身近な地域での支え合いを促進し、支え上手、支えられ上手の地域づくりを目指しています。地域づくり支援は、地域の関わりなども重要なため、コーディネート手法について、今後も研究が必要と考えます。

Q 町民に安心して暮らしてもらうため、町も本制度を創設すべきでは。

A 町民ニーズにあった体制の構築を図るためにも、先進自治体の取り組みなどを参考に、研究検証を進めていきたいと考えます。



厚生労働省HPより
(<https://www.mhlw.go.jp/stf/wp/hakusyo/kousei/22/backdata01-03-02-03.html>)

地域防災力の強化に向け 協働型の社会の構築を

Q 災害対策基本法の基本理念の一つに災害が発生した場合における被害の最小化と、その迅速な回復を図ることがある。町の業務継続計画が修正されたが、変更点とその効果は。

A 内閣府の示す市町村のための業務継続計画作成ガイドに従い、記載内容を簡潔にしました。非常時優先業務については、町事務分掌等に関する規則等に記載の通常業務および地域防災計画に記載されている災害時の業務とリンクさせるために修正しました。災害発生時の迅速な行動につなげたいと考えます。

Q 防災福祉の観点から個別避難計画作成の対象者数と未作成の課題と今後検討すべき留意点は何か。

A 対象者は、きずなプランに基づき75歳以上の独居の高齢者や要介護認定3以上の方、重度の身体、知的、精神障がい者など令和5年5月現在、全体の対象者数は2327人です。要支援者の生活



柳下 雅子 議員



実態や災害リスク等を分析し、優先順位を設ける必要があるため、計画の作成に向けては時間を要しています。今後、自治会や民生委員、町とで構成する調整会議にて検討を進め、実効性のある個別避難計画を作成するために、調整会議の構成員についても検討を進めていく必要があると考えます。

Q 災害対策本部長の町長不在時には、副町長が指揮命令をする。町民の命と財産を守ることへの見解は。

A 町民の財産、生命を守り、情報を的確に収集し、的確な指示を本部職員に出さなければならぬと考えます。



広域連携事業における 課題と今後の取り組みは

Q 消防業務を広域化したことによって新たに生じた課題と今後の取り組みは。

A 新たな消防団の体制が必要であると認識しています。

課題解消のため、消防庁の消防団の力向上モデル事業を活用し、消防団との協議および調整を重ね、町民の安全・安心の寄与に努めます。

Q 火葬事務に関する課題と今後の取り組みは。

A 火葬件数が増加していくことへの対応や老朽化した火葬設備の大規模改修の他、高齢化や生活様式の変化への対応などを課題として捉えています。

今後、利用日や時間枠の拡大の検討、設備改修など利用者が使いやすい施設を目指します。

Q ごみ処理の事務委託に関する課題と、今後の取り組みは。

A 他自治体からごみ処理の受け入れ要請があった場合の取り決めに協定等で整理する必要がある

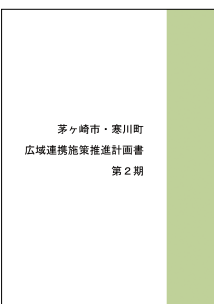


関口 光男 議員



ること、令和8年度から稼働予定の粗大ごみ処理施設の委託事務が、町民にとって利便性の向上や経済的負担の軽減へつながるような検討が必要と考えます。

今後も茅ヶ崎市との協議の中で町の考えをしっかりと示し、ごみ処理に関する委託事務を進めます。



带状疱疹ワクチン予防接種事業の 対応を問う

Q 助成対象のワクチンと開始時期はどうなっているか。

A 不活化ワクチンと生ワクチンがあり、助成の開始は令和6年6月からとなります。

『さむかわ議会だより』が リニューアルしました！

皆さまにとって、より読みやすく身近な存在であるため、
リニューアルを行いました。
新しい『さむかわ議会だより』をよろしくお願いします。

Pick up

4

消防団に機能別団員制度等が導入されます

機能別団員制度ならびに消防団員の休団制度および定年制度を導入することなどにより、消防団の充実強化を図ることを目的に、寒川町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正するものです。

こんな質問がありました

Q 機能別団員の定員と募集の方法は。また指揮命令系統はどのようになるのか。

A 消防団員全体の定数178人に対し、現在の消防団員数は164人であり、不足する14人を機能別団員により補うことを目標としています。今後チラシなどの作成を予定しており、基本団員と合わせて募集を行います。

機能別団員は団長および副団長の直轄部隊として、火災を除く風水害や地震などの大規模災害時に、基本団員の後方支援を行います。



寒川町消防団 広報部長 消防 ダン十郎

Pick up

5

副町長に深澤文武氏を選任しました

3月21日、町長から副町長に深澤文武氏を選任したいとして提案され、賛成多数で同意しました。任期は、4年間(令和6年4月1日から令和10年3月31日まで)です。

経歴

- 昭和58年4月 寒川町入庁
- 平成25年4月 企画政策部企画政策課長
- 平成28年4月 企画政策部長
- 平成29年4月 企画部長、現在に至る



本会議・委員会の記録を次の二次元コードからご覧いただけます。



さむかわ議会だより

POINT1



全てのページが横書きに

数字やアルファベットなどが、
読みやすくなりました。

POINT2



開きが左開きに

手に取りやすさと親しみやすさを
大事にしました。

～議会の思いを町へ～

「政策提言」に迫る！

政策
サイクル
1

政策テーマの設定

常任委員会として課題・問題と捉えていることや、今後町に取り組んでほしいことなどを基に話し合い、政策テーマを設定します。

政策
サイクル
2

討議



設定したテーマを基に、常任委員会の委員同士で議論を行います。

意見交換会や視察

関係団体との意見交換や視察を実施するなど、さまざまな方法で情報収集を行います。



▲北海道北見市を視察
(総務常任委員会)



▲寒川町子育て支援センターとの意見
交換会(文教福祉常任委員会)



▲慶應藤沢イノベーションビレッジ
を視察(建設経済常任委員会)

政策
サイクル
3

まとめ



委員同士で話し合い、政策提言書の形としてまとめます。

「政策提言」とは

…各常任委員会で政策テーマを設定し、討議等を行った結果を提言書として町に提出することです。

これまでの政策提言は
こちら



政策
サイクル
4

政策提言

令和5年度に提出した、各常任委員会の政策提言は次のとおりです。

総務常任委員会

自治体窓口 DX

「書かないワンストップ窓口の調査研究」



自治体窓口DX「書かないワンストップ窓口」導入により、住民の利便性向上と職員の負担軽減を図るため、早期導入に向けての政策提言を行いました。

さらに
詳しく！



文教福祉常任委員会

「寒川町子育て施策充実の提言書」



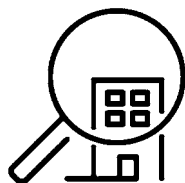
町が「湘南地域で最も子育てしやすいまち」を目指していること等を踏まえ、子育て支援センターを中心に、さらなる子育て支援施設の設備充実を図ることを提言しました。

さらに
詳しく！



建設経済常任委員会

「スタートアップ企業の誘致と 成長支援に関する政策提言書」



スタートアップ企業の誘致と成長支援を行い、町の税収増を図り、さらに町の抱える課題解決をスタートアップ企業と共に解決に導くことを目指して、提言しました。

さらに
詳しく！



政策提言のための政策サイクルは、常任委員会任期の2年間を基本としています。現委員会の任期は令和7年2月までのため、今後もさらなる政策提言に向けて、各常任委員会で改めて議員間討議を開始します。

引き続き議会だよりや町議会HPなどでお知らせしますので、ご注目ください！

小学6年生による子ども議会が開催されました

議会の模擬体験を通じて議会制民主主義への理解を深めることを目的として、1月27日(土)に本会議場で町立小学校6年生の代表による子ども議会が開催されました。実施後のアンケートでは、「緊張したが楽しかった」「良い経験になった」「町のことを考えるきっかけになった」などの感想がありました。



大津市議会をオンライン視察しました

広報広聴委員会および議会改革推進委員会では、2月1日(木)に広報広聴ビジョン、広報広聴ビジョンアクションプランを掲げ先進的な取り組みを行う、滋賀県大津市議会をオンライン視察しました。



能登半島地震への義援金を送付しました

町議会では、このたびの能登半島地震の被害に対する生活の再建と復興の一助としていただくため、日本赤十字社寒川町区分長(木村俊雄町長)を通して、全議員から集めた義援金を送りました。

義援金総額：20万円
義援金送付先：日本赤十字社



寒川町議会基本条例の制定に向けた取り組み

町議会では、1月22日(月)に株式会社自治日報社から講師を招き、『政策提言を行う議会になるために「チーム議会」で基本条例づくり』と題して、寒川町議会基本条例(案)についての理解を深め、条例の意義や目的を全ての議員で共有することを目的に、研修・ワークショップを行いました。



その後、1月30日(火)から3月19日(火)の期間において、寒川町議会基本条例(案)に対するパブリックコメントを募集しました。

4名の方から計14件のご意見を頂きました。ご協力いただき、ありがとうございました。回答については、今後町議会のHPで公開します。



吉田議会改革推進委員長

行政視察の受け入れ

町議会では、当町の各事業について、他議会からの視察受け入れを行っています。令和5年11月から令和6年3月末時点で7団体の議会が当町を視察されました。

自治体名	視察日	内 容
兵庫県播磨町議会	11月16日	・議会だよりの編集・発行について ・広聴活動について
埼玉県寄居町議会	1月24日	・移住・定住について
山梨県都留市議会	1月29日	・議会活性化への取り組みについて ・より開かれた議会を目指す取り組みについて
静岡県清水町議会	1月30日	・議会だよりの作成、編集について ・音声版議会だよりの作成について ・意見交換会の実施について
福岡県大刀洗町議会	1月31日	・広聴活動(報告会、オープントークカフェなど)の実施状況について ・タブレット端末導入による議会運営(ペーパーレス化)について
宮崎県高千穂町議会	2月6日	・意見交換会(寒川町議会オープントークcafé)について ・政策サイクルの展開を目的とした議員間討議について
沖縄県南風原町議会	2月7日	・議会活性化について

議会を傍聴しませんか



傍聴は、当日受付していただければ、どなたでもできます。

寒川町議会のホームページでも、会議の日程や議会の傍聴案内、請願や陳情の手続き、議員名簿等が閲覧できます。

ご不明な点については、議会事務局へお問い合わせください。

●議会事務局 総務担当 TEL 0467-74-1111 (内) 341・342

インターネット
中継はこちらから



6月会議日程

日	月	火	水	木	金	土
2	3	4 本会議 (議案上程等)	5	6 本会議 (議案質疑等)	7 総務常任 委員会	8
9	10 文教福祉 常任委員会	11 建設経済 常任委員会	12	13 東海道新幹線 新駅対策 特別委員会 寒川北インター チェンジ周辺対策 特別委員会	14	15
16	17 本会議 (一般質問)	18	19	20	21 本会議 (委員長報告等)	22

午前9時開会(会議の日程等は変更になる場合があります)

※6月13日(木)寒川北インターチェンジ周辺対策特別委員
会は午後1時15分開会

※6月21日(金)本会議は午前10時開会



しんれんざい
新連載

ぎ かい 議会ラボ #1

ラボとはラボラトリーの略
で、研究室という意味です。

みんなで議会について一
緒に楽しく研究しましょう!

また、今後は議会を身近
に感じられるようなイベン
トの開催も予定しています。

続報をお楽しみに!

ぎ かい 議会ってなあに?

今回学んだことについて、次の号でクイズを
出題します。覚えておいてね!

ぎ かい 議会って?

町に住んでいる人たちの中から
選挙で選ばれた人(議員)が、税金
の使い道など町に関するさまざま
なことを、話し
合い、決める場
所のことです。

